

3 指針の対象範囲

この指針の対象範囲は以下のとおりです。

◇ 対象とする機器

この指針において、「ICT 製品」とは、以下に示すようなネットワークを介した通信を可能とする機器を指しています。総務省の通信利用動向調査で示されている選択肢をもとに、本指針で独自に追加したものです。

パソコン、パソコン周辺機器（プリンタ等）、デジタルカメラ 携帯電話・PHS、FAX 携帯情報端末（PDA ² ） インターネットに接続できるテレビ、ビデオ・DVD インターネットに接続できる家庭用テレビゲーム機 カー・ナビゲーション・システム ³ ETC車載機 ⁴ パソコンなどからコンテンツを自動録音できる携帯プレーヤー その他のインターネットに接続できる家電（情報家電） ⁵

中でもパソコンと携帯電話については、比較的利用率が高く、今後も高齢者の生活との関わりが大きいものと推定されることから、個別の指針として扱っています。

◇ 対象とするユーザ

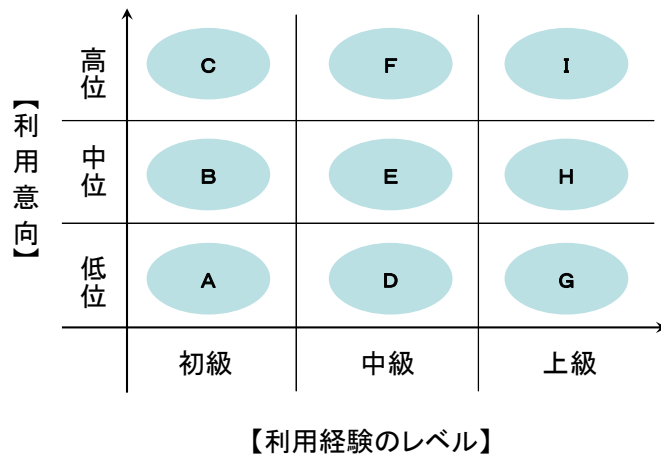
パソコンと携帯電話に関する指針において、対象とするユーザは、製品への【利用意向】と【利用経験のレベル】をそれぞれ3段階に分類して、図表3のとおりAからIの9つのカテゴリーに位置づけています。これにより、各項目が求める配慮事項を必要としている高齢者の類型を明確にしています。

² 「スケジュール、住所録、メモなどの個人の情報を管理する電子秘書機能」と「携帯電話やPHSなどを通じて電子メールやインターネット、社内LANへのリモートアクセス機能」を持つ、手帳サイズ以下のコンピュータ。なお、ノートパソコンは含まない。

³ 衛星からの信号で自動車の位置を判別し、進行方向などを地図画面上に表示するシステムのこと。

⁴ 自動車を止めずに有料道路の課金などを処理するシステム（ETC）利用の際に、料金所などのアンテナとの通信に必要な、自動車に搭載する端末。

⁵ インターネットを通じて外出先から操作・制御したり、他の機器との連携ができる製品のことで、象印マホービン株式会社の「みまもりほっとライン i-POT」や電子冷蔵庫などがある。



図表 3 高齢者の分類

それぞれの分類のレベルは、おおよそ次のように整理しています。

【利用意向】 パソコンまたは携帯電話の使用に対する積極性や興味の度合い

低位: 関心がない、または使用する必要がないと考えているユーザ

中位: 関心や必要性は感じているが、積極的に利用する意欲の低いユーザ

高位: 関心を持ち、積極的に利用する意欲のあるユーザ

【利用経験】 パソコンまたは携帯電話を利用した経験

低位: 全く利用したことがない、あるいは利用し始めたばかりのユーザ

中位: 基本的な機能のみを利用しているユーザ

高位: 多様な機能を使いこなしているユーザ

◇ 指針の見方

指針はそれぞれ、高齢者のユーザビリティを向上させるために必要となる「誘引性」「操作性」「環境支援性」という3つの性質ごとに取りまとめられています。

操作性：目的達成のための操作がわかりやすく、簡単に実行できる

従来のいわゆるユーザビリティであり、機器の使いやすさ、分かりやすさを求めます。ここでは、特に高齢者に特徴的な利用場面（目的・使い方）や身体的・認知的特性に配慮した機器の設計を重視しています。

誘引性：（ある目的を達成する手段として）ICT製品を利活用する状態へと、さそい導き、目的を達成することによる生活の広がりやQOLの向上を支援する

「使う必要がない」と考える高齢者に対し、潜在的なニーズ・必要性に気づかせ、魅力をアピールして、使ってみたいという利用意向の向上を求めます。

環境支援性：周囲の人々により、ICT機器やサービスとの接点をもたらされ、導入から利活用全般にわたって支援が得られる

利用前から利用期間全般にわたって安心して利用できる環境を整備し、高齢者のICT利活用を確保・支援する環境の整備を求めるものです。技術的基盤と、家族や地域・社会による人的社会的支援の2つの側面があります。

また、指針内で求める事項は、以下の2つに分けて掲載しています。

＜機器・サービス提供における配慮事項＞

＜社会に求められる配慮事項＞

この際、「すでに一部で実現されている例（項目番号に下線なし）」と、「今後実現すべき事項（項目番号に下線）」を分けることで、行政（自治体）、機器メーカーやサービス提供事業者、業界団体、研究機関、NPOなど、高齢者のICT利活用環境に関わる方々にとって、活用しやすい形で情報を提供しています。

さらに、＜配慮事項の実現例＞として良好事例等を掲載し、求める事項のイメージを分かりやすく示すよう工夫しています。具体的には、次のような事例を紹介しています。

【事例】 配慮事項を実現した事例

【関連事例】 配慮事項に関連し、参考となる事例

【調査例】 配慮事項に関連し、調査を通して得られたコメントや利用実態など

